

群峰

特集 翁久允

6

二〇二一年四月
富山文学の会

編集後記

▼昨年（二〇二〇年）は新型コロナウイルス感染症の拡大により、日常生活などにさまざまな影響が生じ、大変な一年だったことと思います。富山文学の会も研究大会の中止（延期）、例会の中止など、活動の機会を持つことがなかなかできませんでした。感染対策を行いつつながら研究を進めることは難しいにもかかわらず、今号には計8編の研究論文などが集まりました。執筆者の研究意欲の強さを感じました。

▼今号では、郷土誌『高志人』を創刊した翁久允を特集しました。翁久允のご息女の逸見久美先生、ご令孫で逸見先生の甥御さんの須田満先生のお二方からのご寄稿いただき、大変充実した特集になったと思っています。翁久允に光を当てることは、富山の文学研究を深めることにもつながるのではないかと考えています。

▼新型コロナウイルスに関連して「ウィズコロナ」、「新しい生活様式」などの言葉が生まれたように、今後もこの感染症とうまく付き合っていく必要があるのかもしれない

ません。富山文学の会では、このような状況に対応すべく、今年からは例会のリモート開催も試みています。議論し、研究を深めていくためにも、発表の場を確保することは重要だと考えています。今後も、世の中の変化に対応しながら活動を続けていきたいと思っています。

今村記

群峰 第6号

二〇二一年四月一日 発行

編集・発行 富山文学の会

連絡先 富山市本郷町13

富山高専専門学校（本郷キャンパス）

高熊教員室